

平成29年度実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 音羽商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価															
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価				今後の展開・改善点等		備考	
				指標	達成度		指標	達成度		総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標		今後の展開・改善点等
巡回・窓口相談指導事業	一般的に経営基盤の弱い小規模零細企業を中心に、経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し、融資等の金融相談・申告時期の税務相談・労務相談等経営全般について様々な相談指導をすることにより経営及び技術の改善を図り、健全な企業を育成するとともに、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。	1. 巡回・窓口指導実企業数: 件(巡回48件 窓口28件) 2. 巡回・窓口指導延件数: 件(巡回254件 窓口56件) 3. 課題解決提案件数: 9件 4. 経営革新承認件数: 0件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 103.3%)		指標	課題解決提案件数 (達成度 90.0%)											
記帳継続指導	商工会の職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結びつける。	1. 対象事業者数 26事業所 2. 指導延べ回数 374回 3. 指導日数 196日	小規模事業者	指標	記帳指導事業所数 (達成度 118.2%)		指標	(達成度 %)		記帳の仕方、決算指導、確定申告指導により、自主記帳及び適正な税務申告・計数管理による経営力の向上が図られた。		総合評価	A	事業実施評価の	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 A 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	今後も、小規模事業者の自主記帳及び適正な税務申告・計数管理による経営力の向上に努める。
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	1. 集団講習会 1回 受講者数7名 2. 個別講習会 6回(税務相談会等) 受講者数41名	小規模事業者	指標	講習会受講者数 (達成度 96.0%)		指標	(達成度 %)		また、個別講習会では税務上の悩みを個別で税理士に相談することで解決ができた。		総合評価	A	事業実施評価の	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 満足度 A 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	昨年同様、集団講習会を、商工業者等の自主記帳及び適正な税務申告・計数管理による経営力の向上に努める。
祭典事業(地域産業祭事業)	地域性を活かしたイベントを開催することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し、地域の産業(地域資源・観光資源)PRの機会とするとともに、地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	1. 宮路山もみじまつり 宮路山とその紅葉のPRのみにとどまらず、旧東海道宿場町という当地域の歴史的特色を活かし、旧東海道赤坂宿と宮路山、将来的には旧御油宿の松並木を一体とした面でのPRを行い、紅葉の季節以外でも当地を訪れる観光客を増やしたい。	小規模事業者	指標	来場者数 (達成度 100.0%)		指標	(達成度 %)		宮路山もみじまつりについては、メイン会場の宮路山第1駐車場に加え、改装中の大橋屋を特別公開し臨時の観光案内所とし、旧東海道赤坂宿と宮路山をPRできた。		総合評価	A	事業実施評価の	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 満足度 A 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	今後も音羽地区の観光資源の柱である、旧東海道赤坂宿と宮路山をPRしてゆく。
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続きを行うことにより、中小企業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	1. 委託事業所数: 15事業所 2. 対象従業員: 90名	小規模事業者	指標	委託事業所数 (達成度 100.0%)		指標	(達成度 %)		16事業所の労働保険に関する申告・納付等の諸手続等実施により、各委託事業所の事務の合理化と自己財源確保に努めた。		総合評価	A	事業実施評価の	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 満足度 A 必要性 A	補足	目標 下げる 実施方法 現行どおり	H30.3.31現在の委託事業所数13を維持する。 委託事業所に対して、より一層の事務処理が軽減できるような努め、事務組合業務を通して、的確な労務指導が出来るよう努める。
青年部・女性部事業	青年部・女性部間での交流や社会福祉を通じて地域との関わり合いを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	1. 青年部 もみじまつり協賛、支部交流会 2. 女性部 もみじまつり協賛、講習会、支部研修会、部員親睦会 参加延べ人数: 43名	青年部員・女性部員	指標	事業参加者数 (達成度 107.5%)		指標	(達成度 %)		交流、講習会事業等各事業を通じて自己啓発及び、地域活性化の原動力となり、特に宮路山もみじまつりでは青年部・女性部が中心的役割を果たし、イベント成功の原動力となった。		総合評価	A	事業実施評価の	自己評価 C 目標達成度 A	調査結果 満足度 A 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	青年部・女性部とも部員数が減少しているが、事業参加者数は現状を維持するよう努める。 新規部員の獲得に努める。
福利厚生事業	中小企業、小規模零細企業の経営・雇用の持続的な安定を図るために、各種共済制度の普及や従業員の健康診断事業の実施等、企業の健全な育成に資することを目的とする。	1. 愛知火災共済加入件数: 26件 2. 特退共加入件数: 19件 3. 中小企業共済加入件数: 92件 加入件数合計: 137件	小規模事業者	指標	各種共済加入件数 (達成度 91.3%)		指標	(達成度 %)		企業の安定・雇用等の持続的な安定が図られ、各共済制度の普及、企業の健全な育成につながった。		総合評価	A	事業実施評価の	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 満足度 A 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	各種共済、特に中小企業共済の加入推進に努める。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

